

2014年
1月
第20号

いきいき近江

◇発行◇
一般財団法人
滋賀県老人クラブ連合会
会長 山本 勇作
☎(077) 567-3930
◇編集協力・印刷◇
(株)博報社
大阪市平野区喜連西 4-6-69
☎(06) 6797-0212



第52回
滋賀県老人クラブ大会
(びわこ豊熟シニアクラブ大会)

11月7日、滋賀県立文化産業交流会館で第52回滋賀県老人クラブ大会を開催しました。

午前10時より式典が始まり、君が代斉唱のあと、主催者を代表して山本県老ク連会長が挨拶を述べました。次に老人クラブ育成成功者、優良老人クラブ等に対して県知事および県老ク連会長が表彰を行いました。(2面に受賞者一覧)

表彰につづき、来賓を代表して嘉田滋賀県知事(西嶋副知事代読)、平尾米原市長よりご祝辞をいただき、続いて受賞者を代表して甲良町の宮田鈴子さんが謝辞が述べられました。その後、小島副会長より大会宣言が読み上げられ、満場の拍手で承認されて式典は終了し、活動紹介へと移りました。

活動紹介では、たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」の皆さんから「笑って減災なまず流」と題して防災、減災についてのお話をいただきました。

休憩をはさんで午後からは motto ひょうご 事務局長栗木剛氏による「いきいき楽しく老人クラブづくり」と題した講演があり、老人クラブの実情にあったお話と、栗木氏の楽しい口調で会場は話に引き込まれていました。

最後に会場全体で「青い山脈」を合唱して終了、閉幕しました。



栗木 剛氏



年頭のご挨拶
(二財) 滋賀県老人クラブ連合会
会長 山本 勇作

会員の皆様には、平成二十六年の新春をご家族お揃いで、健やかに迎えることお慶び申し上げます。
平素は、それぞれの地域で仲間づくりに向けた取り組みや老人クラブに欠かせない健康づくり・介護予防活動、さらには地域団体と連携した活動等々、多くの事業に取り組んでいただき感謝申し上げます。
さて、高齢期を楽しく、生きがいをもって、安心して暮らしていくためには、何よりも健康で自立し、身近な仲間と支え合いながら、住みよい地域づくりを進めていくことが必要であります。老人クラブは、発足当初から、「健康」「友愛」「奉仕」の活動に取り組んできました。今日、我が国は高齢者が人口の四人に一人を占め、人生一〇〇年時代を迎えようとしており、老人クラブ活動に対する社会的な期待は、ますます大きくなっています。今後本格化する超高齢社会を明るく、豊かで活力あるものにすることを目指し、今後も「全国三大運動」を継承し、より一層の推進を図ることが必要であります。
こうした中、引き続き介護予防事業や地域社会の期待に応える活動を展開していくためには、仲間が力を合わせ、未加入の高齢者の方々に勧誘し会員として迎えるとともに、休会・解散クラブの発生防止に努め、活動基盤の強化とクラブ活動の活性化に努めねばなりません。県内老人クラブは、これからも一層、自助、共助の精神を発揮し、全老連が掲げる新たなメインテーマ「伸ばそう！健康寿命、担おう！地域づくり」を心して取り組んでいくことはありませんか。どうか会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。
最後になりましたが、会員の皆様のご活躍とご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶いたします。



年間掛金 500 ひとりで交通災害共済に加入しませんか?

加入できる方

- 県内に住民登録をしている方
- 県内の事務所・事業所・学校等に勤務または在学している方

掛金(年額)

1人 500円(1人1口)

共済期間

- 平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間
- 途中加入もできます。この場合も掛金は同じです。

対象となる事故

日本国内の一般道路上で自転車、バイク、自動車等の運転中に発生した交通事故(自損事故含む)または、運転中のこれらの車両に接触またはひかれた交通事故による死傷が対象です。(共済期間内に発生した交通事故に限る)

加入方法

お住まいの市役所、町役場の担当課窓口までお問い合わせ下さい。

交通災害共済キョウター



くわしくは、市役所または町役場でおたずねください
滋賀県市町・滋賀県市町村交通災害共済組合
ホームページ 滋賀 交通災害共済 で検索してね TEL.077-524-4610

災害見舞金

1等級	1,000,000円	死亡
2等級	800,000円	自動車損害賠償保障法施行令別表第1の等級の区分の第1級各号に掲げる介護を要する後遺障害および別表第2の等級の区分の第1級各号に掲げる後遺障害に該当するもの
3等級	120,000円	医師の治療実日数(「入院治療日数および通院治療日数」以下同じ。)が120日以上の傷害
4等級	70,000円	医師の治療実日数が60日以上の傷害
5等級	40,000円	医師の治療実日数が20日以上の傷害
6等級	25,000円	医師の治療実日数が5日以上の傷害
7等級	20,000円	医師の治療実日数が5日未満の傷害
加算	10,000円	通院治療に限り、ギプス固定期間が30日以上ある場合 ※ギプスとは石膏ギプスおよびプラスチックキャストのことをいい、患者側による着脱不可なものに限ります。歯の傷害による固定装着期間は対象になりません。



年頭のごあいさつ

滋賀県知事 嘉田由紀子

た瞬間、大粒の涙を流し、喜びを爆発させる姿には本当

あけましておめでとございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、二〇二〇年夏のオリンピック・パラリンピックの東京開催が決定しました。招致活動においては、大津市出身でフエンシング、太田雄貴選手も最終プレッシャーとして活躍されました。東京での開催が決定し

に感動いたしました。滋賀県におきましても、二〇二四年の国体開催に向けて本格的に準備をはじめました。こうしたスポーツの祭典の開催を契機として、本県のスポーツ振興、選手強化施策はもちろんのこと、スポーツを通じた県民の皆さんの健康増進や、観光誘客、さらには地域経済の活性化にもつながるよう尽力していきたいと考えております。

さて、滋賀県では、「住み心地日本一の滋賀」を目指して、未来を見据えた8つのプロジェクトを戦略的に進めており、今年には計画期間の仕上げの年に当たります。プロジェクトでは、子どもも親も幸せを実感でき、地域が元気になる「子育て子育て応援」や、若者、女性、高齢者、障害のある方など、全ての方が持つ力と資格と意欲を發揮し、しごこの場に就ける全員参加型の社会を目指す「働く場への橋架け」などにより、人と人とのつながりの中で、不安なく楽しく暮らせる滋賀を実現していきたい

また、琵琶湖を中心とした豊かな自然、生態系を守り、育みながら、エネルギーの地産地消、再生可能エネルギーへの転換を図るなど、人と自然がつながる社会を目指すとともに、中小企業や環境関連産業などの成長産業を振興し、活力ある滋賀を創造してまいります。さらに、激甚化の傾向にある自然災害に対して県の危機管理能力の強化や、自助・共助による地域防災力の向上に努めることも、いじめ問題や児童虐待、通学路の安全に係る対策など、子どもの命を守る施策について

も重点的に取り組み、安全で安心できる滋賀を未来の世代に引き継いでまいります。本年も、県民の皆さんの願いや思いを大切に、「滋賀に住んでよかった」、「滋賀にこれからは住み続けたい」と思っていただけのように、力一杯取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。結びに、本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げます。

第42回 全国老人クラブ大会

滋賀県から2名2団体が受賞

平成二十五年十月一日、二日、老人福祉法制定五十周年、老人保健法制定三十周年を記念する第四十二回全国老人クラブ大会が、岩手県盛岡市の岩手県民会館を主会場に開催されました。岩手県は、二年前の東日本大震災において、宮城県、福島県

と並び大きな被害を蒙りました。本大会は、被災地の一日も早い復興に向けての更なる応援と、全国の老人クラブから被災地の老く連等に寄せられた支援への感謝の気持ちが込められたものとなりました。全国からの参加者は、約二千

名で、滋賀県からは表彰を受けられる方も含めて十五名が参加しました。大会は、第一日目が、五会場に分かれての活動交流部会で、二日目は、地元盛岡市の保存会による「さんざ踊り」で始まりまし

続いて、被災三県一市の老連が自主製作したDVD「老人クラブに笑顔戻る」が上映され、被災地の老人クラブが、震災後の過酷な状況を乗り越えて、力強く歩み出す様子などが紹介されました。

前日の活動交流部会の報告、アトラクションの後、式典では、功労者、優良クラブ等の表彰が行われました。表彰の後、大会宣言が採択され、最後は、大震災復興支援ソング「花は咲く」の大合唱で、大会の幕を閉じました。

全老連は、超高齢社会にあつて、健康づくりや支え合い、仲間づくり、いきがごとくつくり



受賞者一覧 (敬称略)

【第五十二回 滋賀県老人クラブ大会】

▼滋賀県知事表彰

- ① 老人クラブ育成指導功労者
 - 西村 源一 (大津市)
 - 北沢 浩治 (彦根市)
 - 富江 武治 (近江八幡市)
 - 吉田 忠行 (野洲市)
 - 野崎 庄平 (高島市)
 - 宮田 鈴子 (甲良町)
- ② 優良老人クラブ
 - 瀬田学区老人クラブ連合会 (大津市)
 - 砂原町白扇会老人クラブ (草津市)
 - 比江懸之会 (野洲市)
- ③ 「老人クラブ淡海の郷づくり推進事業」優良老人クラブ
 - 社会奉仕部門
 - 日吉老人クラブ (大津市)
 - 立入町老人クラブ (守山市)
 - 伝承部門
 - 上の平・中の組・川西・市場老人クラブ (甲賀市)

▼滋賀県老人クラブ連合会長表彰

- ① 老人クラブ育成功労者
 - 大江 房一 (大津市)
 - 水嶋 義信 (大津市)
 - 北川 達雄 (彦根市)
 - 東 芳一 (近江八幡市)
 - 畑 實 (草津市)
 - 井上 芳夫 (栗東市)
 - 福本 司 (甲賀市)
 - 松村 輝男 (甲賀市)
 - 田中 潤吉 (野洲市)
 - 村岡 廣子 (湖南市)
 - 上田 昭治 (高島市)
 - 進士 良治 (高島市)
 - 前河元次郎 (高島市)
 - 片岡津留夫 (竜王町)
 - 澤 徳造 (竜王町)
 - 今村 一夫 (豊郷町)
 - 上野 善久 (甲良町)
- ② 優良老人クラブ
 - 南郷学区老人クラブ連合会 (大津市)
 - 高宮学区和楽会第五支部 (彦根市)
 - 西庄町老人クラブ寿会 (近江八幡市)
 - 十六さなみ会 (近江八幡市・安土)
 - 木川老人クラブ (草津市)
 - 服部老人クラブ (守山市)
 - 葛木楽寿会 (甲賀市)
 - 上朝宮老人クラブ万青年会 (甲賀市)
 - 大篠原和光会 (野洲市)
 - 松風苑老人クラブ (湖南市)
 - 西大路第二区睦会 (日野町)
 - 蚊野老人クラブ愛寿会 (愛荘町・秦荘)
 - 金屋長楽老人クラブ (甲良町)
- ③ 篤行者
 - 谷口 秀夫 (甲賀市)
 - 藤川 翠 (甲賀市)

▼全国老人クラブ連合会会長表彰

- 活動賞
 - 仲間づくり活動部門
 - 米原市山東老人クラブ連合会 (米原市・山東)
 - 豊郷町老人クラブ連合会 (豊郷町)
 - 健康づくり活動部門
 - 唐崎学区老人クラブ連合会 (大津市)
 - 伊勢落長寿クラブ (栗東市)
 - 正福寺老人クラブ (湖南市)
 - ボランティア活動部門
 - 池寺長寿会 (甲良町)

【第四十二回全国老人クラブ大会】

▼全国老人クラブ連合会会長表彰

- ① 老人クラブ育成功労表彰
 - 宮野 武男 (彦根市)
 - 東 昊 (近江八幡市)
- ② 優良老人クラブ連合会表彰
 - 瀬田学区シニアクラブ連合会 (大津市)
 - 甲良町老人クラブ連合会

仲間のしるし 会員章

会員章を胸に活動の輪を広げましょう

頒布価格 1,000円

お申し込み
お問い合わせ

- ・所属の市町老人クラブ連合会
- ・滋賀県老人クラブ連合会

女性委員会の取り組み 高齢者の「暮らし支え合い」についてのモニター調査にご協力ありがとうございました。

高齢になると暮らしの中で不自由に感じるが増えてきます。特に、ひとり暮らしや高齢者世帯ではちょっとした困り事が負担となり、自立した生活が困難になってしまうことも少なくありません。そこで、同世代の仲間がどのようなことに困り、私たちに何ができるのかを考えるため、県老ク連で調査を行いました。

調査は平成24年9月～25年3月に各市町老ク連と女性委員を通じて行い、1,971人から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

調査結果を基に、身近な「困り事」についても話し合い、クラブでどのようなことができるのかを考え、みんなで支え合う、誰もが住みやすい地域づくりの取り組みを始めましょう。

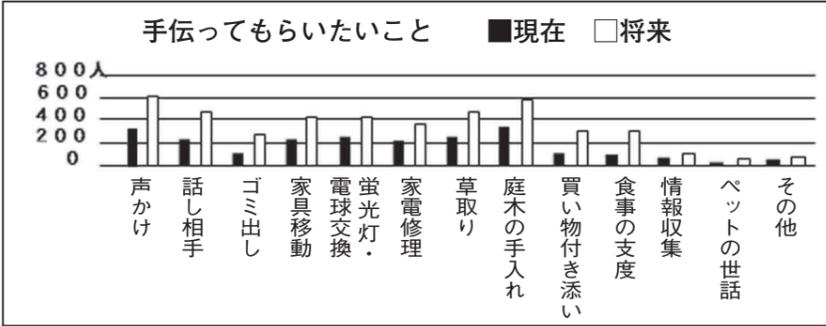
【アンケート項目】※ひとり暮らしと高齢者夫婦世帯対象

1. 健康状態について
2. 近隣のつきあいについて
3. 手伝ってもらいたいことについて
4. 手伝えることについて
5. 「暮らし支え合い」を広げていくためには
6. 日頃「不安」に思うこと

※以下、3～6の項目についての概要を紹介します。

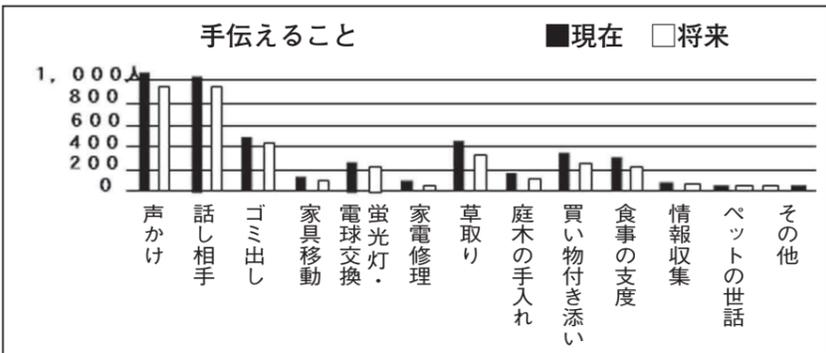
□ 手伝ってもらいたいこと

現在、手伝ってもらいたいことがある人は909人(46%)で、特に「庭木の手入れ」の希望が多く、また、今後手伝ってもらいたいことがある人は1,440人(73%)で、「声かけ(安否確認)」をして欲しい人が多くなっていました。



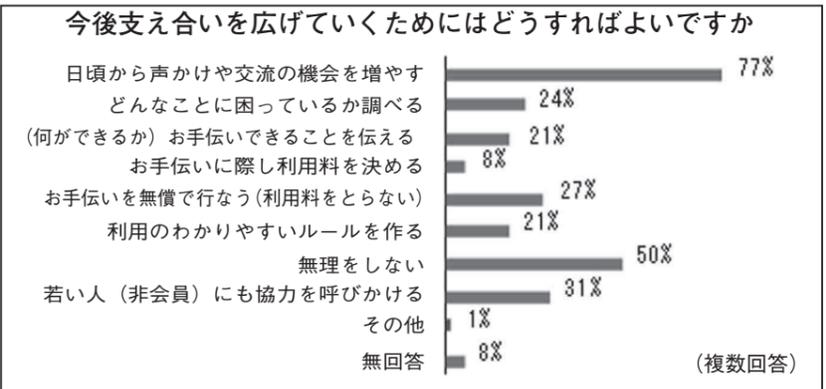
□ 手伝えること

現在、手伝えることがある人は1,463人(74%)で、特に「声かけ(安否確認)」の回答が多く、また、今後手伝える人は1,319人(67%)で、こちらも「声かけ(安否確認)」が多く見られました。



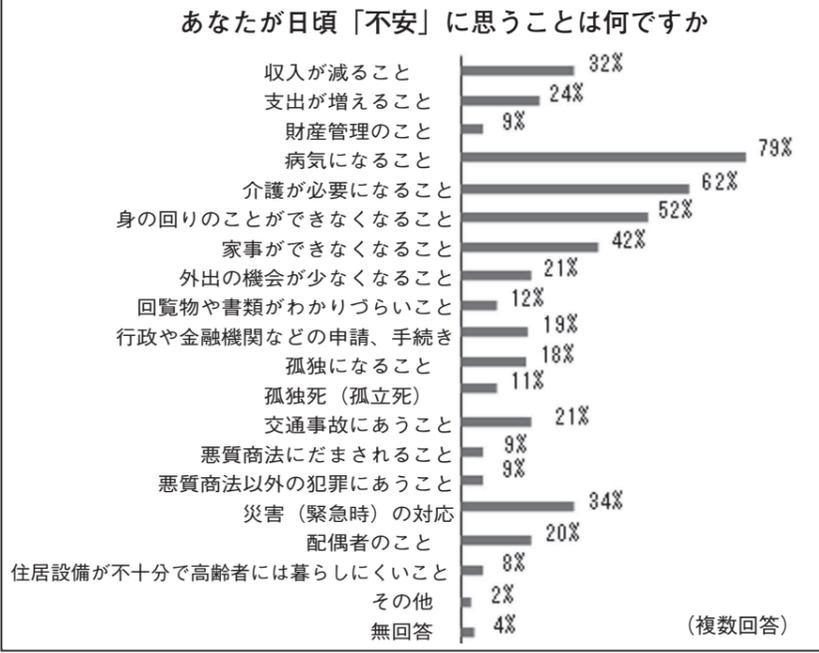
□ 「暮らし支え合い」を広げて行くためには

今後、暮らし支え合いを広げて行くために必要なこととして、「日頃から声かけや交流の機会を増やす」が一番多く回答されています。



□ 日頃不安に思うこと

不安に思うことが「ある人」は1,901人(96%)で、一番多かったのは、「病気になること」の1,562人(79%)、続いて「介護が必要になること」1,214人(62%)、「身の回りのことができなくなること」で1,017人(52%)でした。全般的に、健康状態が良くない人に「不安」に思う人が多くなっています。



紙面の都合により抜粋して掲載しました。

市町老ク連 女性部の活動

伊吹老ク連は、伊吹山の麓の山里の地域において、1,330人の会員で成り立っており、女性部をはじめ6つの部で活動しています。

私たち女性部は、友愛活動として、年1回、ひとり暮らしやねたきりの会員のご家庭を、老ク連からの見舞金とお土産の品を手に各字ごとに訪問させていただいています。品物については、最近は、シクラメンなど鉢植えのお花を贈って大変喜んでいただいています。

また、友愛訪問の1ヶ月後に、各字の状況について友愛情報交換会を行います。その取り組みは、例えば、手づくりのちらし寿司に金品を添えて役員が訪問するなど字によっていろいろです。

訪問時、待たれていたかのように長い時間お話しされるひとり暮らしの方もおられます。大変喜んでくださるので、時々お訪ねして生活や健康状態を見守らせていただこうと思っておりますが、中にはお顔を見せていただかず、様子だけ窺って帰ることもあります。また、近くの施設に入所されている方々の訪問もさせていただいており、訪問先の皆様から聞いたお話を活動に活かしながら、ささやかですが頑張っています。

米原市伊吹老ク連 堀川 和子

季節の移ろいととも、今年も西の湖に冬の渡り鳥がやっ来てまいりました。ふる里安土は、歴史街道の町として有名ですが、特に、日本名城百選の観音寺城、安土城址は市民の誇りであり、また、西の湖は2008年にラムサール条約会議で認められた美しい湖でふる里の宝です。

安土町老ク連は、素晴らしい自然を守り、また、次代に伝えていくことも目標に活動を進めています。

老ク連には、女性部をはじめ7部会があり、私は女性部長として女性部会と友愛活動部会で活動しています。

女性部会は、「信長まつり」の武者行列の着付けの手伝い(6月)、老人ホーム安土荘へのふれあい訪問(12月)を中心に、また、友愛活動部会では、ひとり暮らしの会員を招いての友愛のつどい(11月)、女性部会との合同研修会(3月)を行います。また、「あいさつ運動」や「交通事故撲滅ゼロ運動」にも女性の立場で全力で協力しています。

楽しく美しい老後のために、老人会が、より豊かな交わりの場になることを祈りつつ日々の活動を続けています。

安土町老ク連 木俣ミサ子

竜王町老ク連女性部は、活動のテーマに、女性の特性を活かした友愛、奉仕活動による社会貢献を掲げています。

《主な活動》

○子どもと花のある町づくり・・・各集落の女性部長を軸に、夏の花種とプランタを配り、また、子どもや老人会が花壇の手入れや草むしりなどでふれ合い楽しみます。

○料理・健康づくり教室・・・暑い夏を元気に過ごすために、夏季に季節野菜を使ったスタミナ料理づくりと町の保健師による健康と栄養についての講座を開きます。

○ボランティア活動・・・町内外の老人ホームでの窓ふきなどの清掃ボランティアと入所者との出会い、語らいを楽しみます。

○友愛訪問・・・ねたきりの会員および90歳以上の高齢者を慰問品を手に訪問して励まします。

その他の活動として、お盆前に、各集落にあるお地藏さんの前掛け用に裁断した生地を配っています。

私たちは、介護の問題を自身のことと捉えて、老人会、自治会、ボランティアなどが協力し合って、「おたっしや教室」等を実施するなど、健康づくりの取り組みや社会活動を通じて、明るく楽しい日々を過ごせるよう一丸となって活動しています。

竜王町老ク連 山本 温子

介護予防に取り組みましょう。

～いつまでも いきいきと自分らしく過ごすために～

『年をとって動きにくくなるのは仕方がない』とあきらめていませんか？

介護が必要となる原因の4割が老化や不活発な生活といわれていますが、ちょっとした生活の工夫で過度の老化を防ぎ、自分のできることの範囲を広げていくことができます。これが介護予防です。

県老ク連では、滋賀県健康長寿課と連携して、老人クラブぐるみの介護予防活動（健康づくり）を支援する事業「介護予防活動支援事業」を行っています。

事業の内容としては、体力づくりのためのスポーツ用具等の購入費、健康づくりのための各種講習会の開催費用等の補助を中心に県が健康づくり財団に委託して行なう健康運動指導士等による介護予防の出前講座や研修会についても、協力して進めています。



男性の介護予防教室(竜王町)



男性の料理教室(甲良町)



健康ウォーキング(湖南市)



水中ウォーキング(野洲市)

平成24年度は、県下の75クラブが、介護予防活動事業に取り組みました。
【活動例】

この事業について詳しいことは、市町老ク連または県老ク連までお問い合わせください。

健康づくり推進員

出前講座

だより

県老ク連では、健康づくり支援事業として、各市町老ク連、支部、ブロック・学区老ク連及び単位クラブへの「健康づくり事業」の一つとして健康づくり推進員による出前講座を行っています。

内容は、

- ① ニュースポーツ
- ② 健康体操
- ③ 体力測定
- ④ 料理講習会



などで会員皆様の健康づくりをサポートしています。今年度は、85回（11月末現在）の出前講座を実施し、好評を得ています。

出前講座への健康づくり推進員・講師の派遣費用（謝礼・交通費・資料代など）は県老ク連が負担します。

お申込みは

市町老ク連事務局を通じて、県老ク連まで



平成二十四年度、県老人クラブ連合会と共催で高齢者相互支援活動事業を行いました。音楽家の平田美音子先生とピアノ演奏の佐々木愛先生を講師にお迎えし、の「歌って・笑って健康づくり、会場全体が舞台です」は大きな反響をいただきました。「感動しました。」



自分が必要な声で歌っているのにびっくりしました」の声にこたえて、今度は県老ク連の介護予防活動支援事業に手を挙げ「歌の会」を立ち上げました。

歌って・笑って健康づくり

草津市老ク連

「前向きに学び、社会参画すること。老人クラブが定年後の高齢者の生きがいの場になるよう、県老ク連とともに活動を展開していきます。歌って、笑って、集って、健康な仲間づくりを推進していきます。」
(小枝美代子)



いつも前向き健康寿命をのばす

愛荘町秦荘老ク連

私の義母は八十五歳の時、脳梗塞を発症して以来、寝たきりで介護保険のお世話になっています。今、九十七歳ですが、健康寿命は八十五歳で止まったままになってしまいました。

「老化も気から」と言われ、前向きな人は老化のスピードが遅いと言われています。趣味サークルの女性料理、マジック、絵手紙、盆栽等の活動にも、一人でも多くの参加を呼びかけ、仲間とともに自分らしく輝いて頂きたいと思っています。

平成二十二年の滋賀県の平均寿命は、男性八〇・五八歳（全国二位）、女性八六・六九歳（全国十二位）ですが、健康寿命は男性七〇・六七歳（全国十八位）、女性七二・三七歳（全国最下位の四十七位）でした。平均寿命と健康寿命の差は、滋賀県の男性は九・九一歳、女性は一四・三二歳となり、この期間は「不健康な期間」と言え、この年月が長いほど医療費や介護費用等が増大することになります。

いつまでも健康で、いきいき暮らす「生涯元気」のために、「健康づくり」とともに、「仲間づくり」と「ふれあい」を意識し、魅力ある老ク連事業に力を入れていきたいと思っています。
(村西美恵子)





全国大会で受賞して

大津市老ク連

瀬田東学区シニアクラブ連合会

私たちの学区が今年度、全国老人クラブ大会で会長賞「優良老人クラブ連合会表彰」を受賞しました。傘下会員の協力と活躍はもとより、県・市老ク連関係者のみなさんの日頃からの指導の賜物と感謝しています。対象となった活動について報告します。

一、役員会の活性化

従来は学区の諸団体役員就任をはじめ、学区老ク連事業すべてに会長におんぶにだっこというスタイルであった。現在は学区内諸団体役員はみんな



なで分担し、年度計画に定められた事業は専門部会(健康増進活動推進・交通安全活動推進・奉仕

文芸活動推進)の部長(役員分担)が、各単くの専門委員を招集し責任をもって立案し、月例役員会の承認を得て実施まで行う。結果会長は大変

楽になり、また学区として活動が活発となり活性化された。なおそれぞれの単くは併せて独自に「健康・友愛・奉仕」の活動に取り組んでいる。

二、具体的な活動内容

☆健康づくり活動

健康講座(年二回)

歩こう会(年五回)

グラウンドゴルフ大会(年二回)

体力測定記録会(年一回)

ゴルフ大会(年二回)

☆交通安全活動

交通安全教室(年一回)

☆奉仕文芸活動

公園清掃奉仕活動(月一回)

福祉バス研修旅行(年一回)

子ども交流会(年二回)

青少年育成街頭啓発活動(年一回)



カラオケを楽しむ会(年一回)

ポイ捨て防止街頭啓発活動(年一回)

三、新クラブ加入促進

昨年は新しいクラブの加入で学区活動が明るくなり活性化に寄与

四、退会クラブ復帰活動

当学区には三クラブの退会が過去にあり、自治会長に協力を呼びかけながら二年後をめどに復帰成功目指して働きかけを続けていく。

五、PR活動

公民館だよりを活用し、学区全域に行事のために参加呼びかけを実施している。

この受賞を誇りとして、今後一層クラブ活動を活性化させ、受賞に恥じない老人クラブ活動を進めていきたいと努力しています。(藤村 修)

守山市老人クラブ連合会へ加入して

守山市老ク連

ネオ・ベラヴィータさざなみ会

平成二十五年度より市老連へ仲間入りしました。琵琶湖大橋のたもと、佐川美術館やレークサイドゴルフ場の近くに位置する私たちの自治会は、イタリア語で新しい環境の住みやすい街を意味する「ネオ・ベラヴィータ」と称します。

全戸三六〇戸、人口二二〇〇人余り、平均年齢二十七歳代と若く、小学生



「絵手紙を作ろう」「将棋と囲碁」「グラウンドゴルフ」など七種目で児童との楽しいひとときを過ごしました。伝承の温かさを知った「焼き芋づくり」、瞳が輝いた「料理を教えてもらおう」、古来の遊びを知った「お手玉遊び」などに児童たちの輝いた目と元気を感し、クラブ員も若返ったすばらしい一日でした。

花よ清く咲け

甲賀市老ク連 土山支部

十月二十一日、六十余名の土山学区クラブ員が参加し、土山小学校との交流会を実施しました。

これからの老人クラブ

米原市老ク連 山東支部

いくことが極めて大切だとし、楽しみ思いました。花よ、清く咲け (水野 平)

「高齢化集落で老人の担う役割は」という課題について、自治会で検討したことがありました。老人クラブでも規約改定に取り組みしましたが、大幅改定には至らず、会員の増員対策もしぼんでしまいました。しかし、集落の有志(元気な高齢者)が手をあげて立ち上げた高齢者を支援する「大野木長寿村まっつくり会社(非法人)」では、予想以上の需要に驚き、自分たちの働き甲斐で始めた高齢者ビジネスも次々とアイデアが膨らんで、現在では五十人ほどの会員が楽しみながら活動に精を出しています。これらほとんどの人たちが、なぜか老人クラブのメンバーなのです。



ぬかるんだ道でもいつかは晴れる！

さみしくて涙でみた夕焼け…汗水流して働く父の背中を見て！

それぞれの児童たちにあるだろう「清い心の花園」を想い、クラブ員が知識・経験・心を生かして、児童たちの「心と体」の成長の手助けをして



少子高齢時代に高齢者が果たすべき役割は大きいのです



赤い羽根共同募金

一般財団法人滋賀県老人クラブ連合会では、赤い羽根共同募金(社会福祉法人滋賀県共同募金会)の助成を受けて、広報紙「いきいき近江」を発行しています。

交通安全運動

〇3月15日~4月15日

新入学(園)児と高齢者の交通事故防止運動

〇4月4日~4月14日

春の交通安全運動



が、みんなの賛同を得る老人クラブの運営では、今の世ではまったく動けないと思えます。リーダーがいて、目的を持って自主的に集まった仲間なら、同じ高齢者でもびっくりするほど動けることがわかりました。少子高齢化、価値観の多様化が進化する時代、集落を背負わなければならないのは元気な老人であり老人クラブでなければならぬのですが。(清水 清市)

地域の

活動だより

東日本震災被災地 支援演劇公演を終えて

安土町老ク連

安土町老ク連は、今年二月の演芸大会で演劇「波瀾万丈…悲しみを乗り越えて」を創作、上演したのがきっかけとなって、東日本震災被災地の福島県南相馬市を訪問することとなりました。

七月六日から八日までの日程で、スタッフ二十八名が上演の準備をしてバスに乗り込み、七八〇キロの長距離を十二時間かけて南相馬市へ向かいました。車中では、セリフ合わせなどの練習も熱心に行われましたが、福島県に入ってから海通りに向かう山あいの地で目にしたものは、原発汚染の被害により、耕作されることがなく放置されて荒れた田畑が続く光景や、雑草が生い茂りゴーストタウン化した集落で、誰もが固唾を飲んで見ているばかりでした。

到着した翌日朝八時から、山手にあつて津波被害を免れた公演場所のさくらホールで舞台稽古を行い、十時と二時の二回公演に備えました。開会のセレモニーでは、富士谷近江八幡市長のメッセージや竹トノボ、千羽鶴、布袋などクラブ会員有志の心のこ

もった手づくりのプレゼントを贈って、集まられた皆様に大変喜んでいただきました。いよいよ開幕です。演目は、

演劇「波瀾万丈パート①」パート② 悲しみを乗り越えて」歌、舞踊、お笑い続きますが、汗と涙で熱演する配役に對して、惜しめない拍手喝采をいただきました。公演のフィナーレの江州音頭は、出演者全員が舞台から降りて輪を上げて踊り、それに合わせた観客の皆様の大きな拍手で大いに盛り上がりました。

これを機に、南相馬市と近江八幡市の友好親善が深まることを願っています。今回の福島公演は、安土町老ク連が誇れる活動であり、皆の宝物にしたいものです。

最後に、南相馬市の皆様のご健勝ご多幸と一日も早い復興を心からご祈念申し上げます。(末房 松二)



地域の子どもたち とのふれあい

守山市老ク連 立入町老人クラブ

立入町老人クラブの活動の特徴は、「地域の子どもたちとのふれあい」が多いことです。地域の子ども会や小学校一年生および五年生、そして幼稚園児などと「昔の様子の話(暮らし、戦争、地域)・昔の遊び・グラウンドゴルフ・茶巾絞り・カレーパーティー、お餅つき」など多くの交流会や、学習会、お遊びに楽しく参加させていただいているおかげで、自身の健康に気を配り、子どもたちからも元気を貰っています。何よりも老人クラブに期待して下さる事が一番の喜びであり、社会貢献の機会をいただいていることに生きがいと働きがいを感じています。

また、登下校のスクールガードでは安全の見守りはもちろんのことですが、あいさつを交わしながら一年一年子どもたちが逞しく成長してくれている姿を見るのは親御さんと同じように本当に楽しいことです。

これらの活動のほとんどが十有余年続いています。その他地域の奉仕活動として、年四回新川神社と東福寺の清掃活動を行なっています。また会員相互の親睦と組織の強化を図って日帰り旅行、一泊旅行がありますが、車中のおしゃべりや宴会での盛り上がりはお互いの頑張りをして

たわり、ありがとこの感謝と憩いのひと時になっているのではないのでしょうか。当老人クラブは、昭和四十年代初期に隣町とわが町との合同の老人クラブとして発足し、昭和四十八年に地区別老人クラブに分かれたと聞いていますが、平成二十五年度は四十年目の節目の年になります。



現在の会員数は七十四名ですが、さらに会員数の増加と若干なりとも若年化をはかり、さらに地域のニーズにこたえられるよう老人クラブの役割を考え、かつ楽しい老人クラブ活動になるよう企画運営してまいりたいと思います。(山崎 清)

朝六時二十分になると、草の根広場に「お早う」の元気な朝のあいさつとともに、会員が集まります。「新しい朝がきた希望の朝だ…ラジオ体操の放送に合わせ体操が始まります。夏休

みには、子どもたちと一緒に体操を行います。体操の後には、参加者がいろいろな情報交換をしながら交流を図り、年代を超えての交流で心身ともに若返る気がします。」これは寺尻単位クラブからの報告ですが、日野町老ク連では、今年から健康寿命を延ばすため、「元気で長生き」を合い言葉に事業に取り組んでいます。

ラジオ体操で、 元気で長生き

日野町老ク連

一つ目は、夏休みにはラジオ体操を子どもたちと一緒にやることにしました。日野地区では、地区の取り組みとしてラジオ体操に取り組みすることを決められ、各単位クラブで実施してまいります。

二つ目は、シルバード大学の内容に、健康に関する講座を設けることとしました。第二回は、滋賀医科大学の瀧川教授に「高齢者の心の病」と題し、うつ病に関する講義をいただきました。第四回には、地元開業医の河村先生に、「高齢者の健康」と題してお話をいただきました。

花いっぱい運動と 三島食堂

米原市山東老ク連

その中の一つ「花いっぱい運動」は「すべての人に花の心を」を合い言葉に平成八年に立ち上げられました。春にはマリーゴールドとペゴニアを、秋にはパンジーとビオラを、種まきからポットへの仮植、プランターへの定植まで育てます。作業は和気あいあいとおしゃべりに花を咲かせて進められます。プランターに定植した花は各字や公共施設にお配りします。中にはポットのままでお届けする所もあります。また、四年前から苗の販売も手がけて頑張っています。

もう一つの活動は「うどんコーナー三島食堂」の運営です。山東地域にある三島池は逆さ伊吹を映し、春

の桜、越夏する鴨、秋の紅葉、冬の水鳥と四季折々に美しい姿を見せてくれます。大阪、名古屋あたりから写真愛好家やキャンパスを持った人が訪れますが、食べる所がないというので昭和六十一年に「うどんコーナー」がオープンしました。

ぼくらの 体験紀行。

琵琶湖博物館

琵琶湖博物館は、琵琶湖の自然と文化を学ぶことができる。トンネル水槽では、淡水水族展示として日本最大級のトンネル水槽。水族展示室には、ふれあい体験コーナーもあり、水槽の中へ手を入れて、魚に直接ふれることができる。

琵琶湖博物館は、琵琶湖の自然と文化を学ぶことができる。トンネル水槽では、淡水水族展示として日本最大級のトンネル水槽。水族展示室には、ふれあい体験コーナーもあり、水槽の中へ手を入れて、魚に直接ふれることができる。



(山中 茂樹)

琵琶湖博物館
LAKE BIWA MUSEUM
TEL 077-568-4811 (代) FAX 077-525-0001 草津市下物町1091
【開館時間】9:30~17:00 【休館日】月曜日 ホームページ <http://www.lbm.go.jp/>

ぼくらの体験紀行。
琵琶湖博物館
トンネル水槽
淡水水族展示として日本最大級のトンネル水槽。水族展示室には、ふれあい体験コーナーもあり、水槽の中へ手を入れて、魚に直接ふれることができる。

観覧料
大人 / 750円 (600円)
高・大学生 / 400円 (320円)
※ () 内は20名以上の団体料金
小・中学生 / 無料

農村の暮らしと自然
昔の水利用の工夫など、昭和30年代の湖周辺の暮らしを見ることが出来る。

文化の伝承〜黒川の花笠太鼓踊り〜

甲賀市老ク連土山支部
上平・中組・川西・市場老人クラブ

甲賀市土山町黒川には、地域の大神社に奉納される祭礼行事として、江戸時代初期頃の雨乞いとその返礼の踊りを起源とする「太鼓踊り」が伝わっています。

県の無形民俗文化財にも指定された、この華やかで勇壮な踊りは、地域の集落ごとに花笠をかぶった太鼓打ちやホラ貝吹き、鬼の面を着け軍配を持った棒振り、歌出し、警護、歌役などの役割を決め、各役がそれぞれ衣装をつけて、ホラ貝を吹き、太鼓を打ち鳴らしながら神社に向けて行列していきます。

途中、四集落を二分した上下の組が顔を合わせる「出会い」の儀式では、棒振り同士が牽制し合ってぶつかるといふような激しさもあり、過去には鬼の面が割れるようなこともありました。

この行事は、地域の青年層



が中心的な役割を担って今日まで受け継いできましたが、年々若者が減って踊り手も少なくなり、後世への伝承が心配される状況となってきたため、経験豊かな老人クラブの人たちが、熱い思いをもって花笠や飾りづくりを行い、また太鼓の打ち方、ホラ貝の吹き方などを、若者や子供たちに教え伝える活動を続けています。

今年は、途中途絶えていた「順役踊り」を復活させるため、高齢者の記憶だけを頼りに、若手に立ち上がってもらい指導を進めました。その結果、「ヨーちゃん やくやー」の唄が宮ノ森に蘇ってきました。

(落合 道夫)

第六回竜王町老人クラブ大会

竜王町老ク連

「創造と連帯の輪を広げて心豊かな21世紀を」をテーマに、十月四日、町公民館において約三〇〇名の参加を得て第六回竜王町老人クラブ大会を開催しました。

本大会を契機として、私たち老人クラブは、これからも一層、自助、共助の精神を発揮し、地域の担い手として「ゆとり」「うるおい」「やすらぎ」に満ちた心豊かな地域づくりに取り組み、高齢者福祉の向上に努めてまいります。

大会第一部の式典では、開会のことば、物故者への黙祷、町民憲章の唱和、主催者あい



さつに続き、育成功労者、優良老人クラブの表彰を行い、金婚者への祝詞を贈呈しました。そして、竹山町長をはじめ来賓の方々からの祝辞につづいて、大会宣言が高々と読み上げられ、参加者全員が賛成により採択されました。

会員相互の支え合いと励まし合い

高島市老ク連
新旭支部

本年の事業活動については、特に例年と変わりませんが、健康(自助)、支え合い(共助)について、仲間同士の協力や励まし合いなど、介護予防の一助として、「寝たきり老人介護者慰問事業」を



実施します。これは、家庭で寝たきりのお年寄りを介護されている介護者に元気になっていただくことを目的に、一月の友愛訪問に合わせて粗品を贈って激励する取り組みです。また、三年前から地域における見守り活動(見守りネットワーク活動)のひとつとして、八十歳以上の高齢会員の方々に、手書きの暑中見舞いと年賀状を心を込めてお届けしています。

友愛訪問の声かけ活動や公共施設の清掃活動などは、各単位クラブで頑張っていたのですが、老人クラブ活動に山積する問題の解決や連合会の活力を高めて取り組みの充実を図れるよう、行政の指導や援助にも期待したいところです。

私たちの活動はささやかなものではありますが、会員の皆さんの支え合いが、高齢者(八十歳以上)の方々への激励になり元気につながればと思います。

できれば、若い方も若きも手を取り合って笑顔で協力し合えるよう頑張ります。

(進士 良治)

「東京オリンピック」を悪用した詐欺的トラブルに注意!

事例1 知らない業者から電話がかかり、「オリンピック関連企業への投資のパンフレットが全国500名限定で送付される。もしあなたに届いたら、権利を譲ってほしい」と言われた。さらに、「パンフレット到着後に電話をくれたら、オリンピックの入場券をプレゼントする」とも言われたが、信用できるでしょうか。(60代 女性)

事例2 過去にA社の未公開株を30万円で購入していたが、先日、Z証券会社の担当を名乗る者から「オリンピック開催が決定して、A社の株価が10倍になったので売らないか」と電話があり、売ることにした。「売却代金を送金する保険料として30万円必要」と言われ振り込んだが、その後も手数料等の名目で請求が続き、とうとう貯金が底をついてしまった。(70代 男性)



2020年の東京オリンピック開催決定に伴い、関連した詐欺的トラブルの相談が寄せられています。悪質業者は、話題となっている出来事を悪用して近づいてきます。

今後東京オリンピックに関連したトラブルはさらに増えてくると考えられますので、十分注意するようにしましょう。

いったんお金を払ってしまうと、取り戻すのは非常に困難です。**だまされない方法は、日頃から「だまされるかも」としておくこと。**

うまい話を持ち掛けられても安易に信用せず、少しでも不審に思ったときは、お金を払う前に、お住まいの市町の消費生活センター等にご相談ください。



「おかしいな…」「困ったな」と思ったら、まずは消費生活相談窓口にご相談ください。

滋賀県消費生活センター ☎0749-23-0999 【祝日・年末年始を除く 9時15分～16時】

消費者ホットライン ☎0570-064-370 ゼロゴーナナゼロ 守ろうよ みんなを!

しめ縄づくりは老人クラブの手で

米原市米原老ク連
南三吉和風会

中山道沿いに、東西に細長い九十戸ほどの小集落南三吉区があります。当クラブの会員数は八十一名で、人口に占める割合は約四分の一です。

南三吉区には、八坂神社、八幡神社、日吉神社、十神社の四つの神社があります。この小集落に、なぜ四つも神社があるのか不思議に思われる

老人クラブリーダー中央セミナーに参加して

彦根市老ク連 北沢 浩治

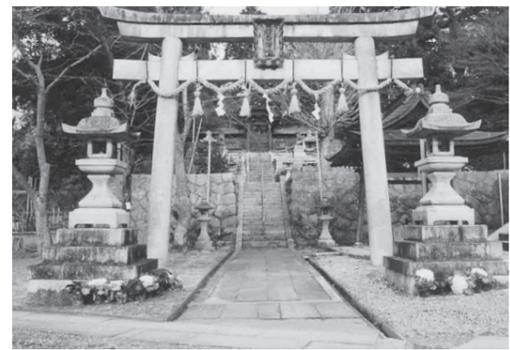
中央セミナーに参加する機会を与えていただいたことにまず感謝します。

セミナー冒頭の基調報告における平成二十二年以降の三ヶ年活性化計画の総括は概ね予想されたとおりでしたが、社会の状況と老人クラブ活動についての項目では、超高齢化、認知症高齢者の増加、医療、介護機能の「施設から地域へ」「医療から介護へ」の変遷、これに伴う地域での生活支援サービスの必要性の増大といった内容に特に関心を持ちました。

以上の状況をふまえて、「高齢者生きがい活動促進事業」（平成二十五年厚生労働省モデル事業）がスタート。また、社会保障国民会議においても議論されている「高齢者の社会参加を通じた介護予防

の提供をお願いをしています。十一月末頃のしめ縄づくりは、男性会員が参加して四

かもしませんが、明治十二年に三集落が合併したことによるもので、この四神社のしめ縄づくりが老人クラブの大事な行事の一つになっていきます。しめ縄は、鳥居用の大しめ縄（長さ五〜七メートル）を三本、本殿等の細しめ縄（三〜十一メートル）を十本、ほかに、エビと呼ぶ長さ一メートルの飾りを七本作ります。しめ縄づくりには、軽トラック一台分くらいの餅米の藁を使いますが、最近では、餅米を作る農家が少なくなったので、田植えの時から農家に藁



の提供をお願いをしています。十一月末頃のしめ縄づくりは、男性会員が参加して四

の推進「介護度が軽い高齢者は見守り・配食などの生活支援が中心になり、保険給付から地域包括計画と一体となった事業」への移行となる傾向が伺えます。

老人クラブがおかれている現状を考察しながら、厚労省老健局振興課の「包括ケアシステムの構築」を受講して、今後の老人クラブへの社会的期待の内容が十分理解できたところでした。

さらに、日常の活動を振り返ってみると、彦根市における高齢者福祉の基本である、第五期（平成二十四年度〜二十六年度）彦根市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画では、地域の支え合いの中で、高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくりをテーマに高齢者組織の育成が提唱

され、老人クラブ活動は生きがいづくりや健康づくりを通じて、ねたきりや認知症などの介護予防としても重要であると指摘されています。

時間くらいで完成します。老人クラブの主要行事としては、このしめ縄づくりのほか、集会所などの葉刈り、グラウンドゴルフ、日帰り研修旅行などをこなしています。が、しめ縄づくりで年間の大半が終わることになります。このクラブも、会員の高齢化や会員数が減ってきており、特に男性会員が少ない傾向にあるため、男手が必要な葉刈り作業やしめ縄づくりがいつまで続けられるか心配は尽きませんが…。

（土川 豊男）

と学区の友愛リーダーを対象に、「地域包括ケアシステム」について研修会を開催しました。

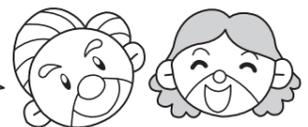
今後は、地域包括支援センター単位で、連合会に所属していない単位クラブにも誘いかけて研修会を開催して、今後の対応組織を強化する方向で進めていきたいと考えています。

このことは、先だつての全国老人クラブ大会の宣言にもあります「人口減少社会において、地域における高齢者相互の支え合いがますます重要になっていきます。…社会保障制度の持続可能性が問われる中で、制度を支える一員として、能力に応じた責任を果たし、高齢者の尊厳を守っていかねばなりません」に通じると思います。

これからの老人クラブ連合会の活動は、まさにこの方向にあると認識しております。

75歳になったら後期高齢者医療制度

知ってる?



病気やけがのとき、安心して医療を受けるために

●75歳以上の高齢者のための医療制度です

『後期高齢者医療制度』は、75歳以上の方が加入する公的な医療制度です。

※65歳以上で一定の障害があると広域連合が認めた方も含まれます。

制度を運営する『滋賀県後期高齢者医療広域連合』では、病院などの窓口で提示する「保険証(被保険者証)」を発行したり、高額療養費などを給付したりしています。

●個人単位で加入します

75歳の誕生日から、すべての方が自動的に後期高齢者医療制度に加入します。家族が勤める会社の健康保険などの扶養には入れなくなります。また、配偶者などご家族をご自身の扶養に入れることもできません。

※今まで扶養されていたご家族は、国民健康保険等への加入が必要です。

●国民健康保険とは違います

各種手続きや問い合わせの窓口は市役所・町役場ですが、国民健康保険とは別の制度です。

一人ひとりが保険料を支払います

●まずは納付書、それから年金～保険料支払いのルール
後期高齢者医療制度では、年金からのお支払いや納付書で一人ひとりが保険料を支払います。

【注意】 制度に加入してしばらくの間は、市役所・町役場から送られてくる納付書でのお支払いとなります。最初から年金からのお支払いにはなりません。

※年金からのお支払いは自動的に切り替わりますが、お支払いの開始時期はお住まいの市町によって異なります。

※年金額により年金からのお支払いができなかったり、何らかの事情で年金払いから納付書払いに切り替わることもあります。

●国保料(税)の口座は引き継がれません

保険料は、口座振替によるお支払いも可能ですが、振替口座の登録が新たに必要となります。

【注意】 国民健康保険とは別の制度であるため、国保料(税)の振替口座から、自動的に引き落とすことはできません。(振替口座の登録手続きについては、お住まいの市町の担当課で受け付けています。)

★ 手続きの有無や方法など詳しくは、お住まいの市町の後期高齢者医療担当課までお問い合わせを ★

女性部研究集会

ゆうゆう甲賀クラブ



「創造と連帯の輪を広げてく心豊かな21世紀を」をテーマに、女性リーダー研究集会を開催。「ゆとり」「うるおい」「やすらぎ」に満ちた心豊かな社会となるよう「健康な高齢者像」の創造と、歴史と体験を共有する高齢者相互の連帯」を掲げ、市内各単位クラブの女性リーダー等約二百数十名が集まりました。特に、高齢者を取り巻く事件や事故、いじめや虐待等が多発している折から、湖南三山の長寿寺に入寺された藤支先生を講師に招いて心の問題をテーマに研修しました。先生の「忘れそう大切な心」と題する講演を拝聴し、すべてに感謝の心を培うこと、自分たちが教わったことを次代に伝えていくことが、今私たちにとって大事なことでありとあらためて感じました。



昔は、ごはん一粒でも粗末にしたら「目がつぶれる」と言われました。これは、米一粒にも多くの人々の魂が宿っており、その大切さを説き諭されたものです。

今、私たちの子どもや孫には、いつも行動の中でその姿(お手本)を見せることが大切と教えていただき、生活の中に生かしていくことを学びました。

講演の後は、サークル活動の披露があり、中でも平均年齢八十歳という高齢のアンサンブルの方々が演じた「花は咲く」の演奏に、優しさで力強さを感じた時を過ごし、女性リーダーとして、「日のもとには女ならでは世の明けぬ国」の言葉とどりの活動に期待を寄せる研修会となりました。



(堤 英隆)

会員のページ「ひろば」の原稿募集要領

- ◆該当する「テーマ」を明記し、400字程度でお願いします。
- ①健康づくり②友愛活動③奉仕活動④伝承活動⑤世代間交流活動⑥組織の活性化⑦魅力ある老人クラブ⑧その他のテーマ(雑感含む)

- ◆各号お一人様または1団体1作品とさせていただきます。
- ◆原稿締切…特にありません。
- ◆原稿等送付先 〒525-0072 草津市笠山7丁目8番138号 県立長寿社会福祉センター内 滋賀県老人クラブ連合会事務局

老人クラブ会員の皆さまへ

平成25年10月1日改定

〈平成25年9月1日以降のお申込みから適用〉

ケガの老人クラブ傷害保険のご案内

総合型

24時間いつでも、どこでもケガが心配という方におすすめ

年間掛金 3,500円

日常生活全般のケガを補償

さらに 充実補償の 年間掛金 5,000円 年間掛金 10,000円 もあります。

- ☑ 総合型のクラブ活動中のケガの場合は、**白地** + **薄いグレー** の合計 **黒色** の補償額が支払われます。
- ☑ 総合型のクラブ活動中以外のケガの場合は、**薄いグレー** のみの補償額が支払われます。

※総合型の掛金・補償額は、職種別A(無職、事務職等)の方を対象にしたものです。職種別B(農林業業者等)の方は、掛金、補償額が変更になりますので、代理店または保険会社までお問い合わせください。

年間掛金		総合型 3,500円	
ケガをしたときの状況		クラブ活動型	24時間型
		活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
補償内容	死亡保険金	45万円	91万円
	後遺障害保険金 ^(注1)	45万円	—
	入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき30日限度)	1,000円	750円
	通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	500円
		136万円	1,750円
		1,150円	

クラブ活動型

クラブの行事や活動によく出かけるという方におすすめ

年間掛金 500円

クラブ活動中とその往復途上のケガを補償

さらに 充実補償の 年間掛金 1,000円 年間掛金 2,000円 もあります。

年間掛金		クラブ活動型 500円	
ケガをしたときの状況		活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
補償内容	死亡保険金	45万円	補償なし
	後遺障害保険金 ^(注1)	45万円	
	入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき30日限度)	1,000円	
	通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	

(注1)後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)
(注2)手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍また入院中は、10倍となります。

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係 03-3597-8770 受付時間 9:30~17:30 (土、日、祝祭日休) (取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768 (引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 FAX番号 03-3597-8767 (担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日改定)」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険係ホームページ(http://www.senior-ltd.com/)でもご確認ください。 13-T-03898 平成25年8月作成

会員のページ

ひろば



速道路など急速な開発を呼び、戦後日本のめざましい

中山間地に住む我々 老人への一側面的課題

三日月勝見

今日も朝から多くの野生サルが出没し、我が家で大切に育ててきた収穫間近のトウモロコシは全滅状態となった。

復興・発展を世界に示すことができた。私が就職したのも昭和三十年後半の高度経済成長の真っただ中だった。

それから四十年が経過した現在、地元では農業を営む若者は皆無に近い状態となり、

老人クラブの土壌とは

東 芳一

活を自身で切り盛りしなければならぬ事情もあり、中山間地の保全はなお難しい課題になってきた。

近江八幡市老人クラブ連合会のクラブ数・会員数は、統計によると、平成十五年から今年までの十年は五年毎に、クラブ数では十クラブ、会員数では一〇〇〇人近く減ってきています。

C型肝炎を克服して

米原市米原老ク連 久保田 實

私がC型肝炎を発症したのは昭和五十一年十二月三日。それから約三十年間C型肝炎と戦い苦しんできましたが、医学の進歩はすさまじく、不治の病も治るようになりまし

の、白血球はほとんど低下したので、インターフェロン治療は中止され、あと四本残して治療は終わりました。

年齢人口が増加する中、私たち老人が自身の心と身体の健康を維持しながら、弱者への思いやりや社会への奉仕活動に積極的に関わることもあり、これは老人クラブへの期待と同時に責務であると考え

平成十一年に初めてはぐれザルがこの隠岐の地にきた。大変珍しく区民の話題になったほどである。隠岐では水稲を軸とした農業が昔から行われてきた。その他、先人たちの過去の取り組みを見てみると、養蚕や野菜、茶葉、葉タバコの栽培に励んでこられた経緯がある。林業は雑木を杉や檜に変換し、現在に至り放置林と化した。このように隠岐の住民は試行錯誤しながら一杯その時代、時代を生き抜きこの地を守ってこられた。

昭和五十六年に撮影された隠岐地区の航空写真では谷の奥まで田や茶畑が耕作されており、荒れている所などは皆無だった。今では小さな谷はもちろん、大きな谷までも作付されていない状況になった。その当時の日本の経済的背景を回顧してみると、昭和三十九年十月、東京でオリンピックが開催され新幹線や高

「今日まで何事もなく、平々凡々と過ごしてまいりました」スピーチ等でよく耳にする言葉ですが、何とも羨ましい限りです。

先般、市老ク連の機関紙にも少し落書きしましたが、私は公の場で事が収まらない時、ふとブドウの房を思い出します。一本の太い軸で繋が

一時は死の淵をさまよひ、「次はあの人の番やで」と言われるようになって、自分も死を覚悟しましたが、平成二十年四月、医師から検査の結果、肝炎ウイルスが発見できないとの朗報を告げられました。しかし、今度は血小板と白血球の数がどんどん下が

これからは、青葉会をはじめ、地域のごとに汗水を流し、全身全霊でがんばります。

これからも、皆さんと一緒に、より多くの仲間を老人クラブに、また連合会に参加されるよう根気よく活動を続け、地域社会のため、また自分のためにも、老人クラブの活動を盛り上げていきたいと思

老人クラブへの思い

愛荘町秦荘老ク連 上林 村治

「健康」「友愛」「奉仕」を基本に活動している老人クラブは、長寿国日本で今後ますます重要な役割を担うことになると思います。それは、高



魅力ある機関紙「ねんりん」の活動

大津市比叡老人クラブ 橋本 関三

私たちの活動の重要な柱のひとつに、機関紙「ねんりん」の発行があります。クラブ活動に参加できなかった人も、「ねんりん」によって情報を共有でき、喜びや今後の行事などを一斉に知っていただけ

ます。二〇一〇年三月に創刊以来、現在までで四十二号を数えるまでになりました。最近、行事の翌日には雰囲気もわかっていただけるように写真入りで、またA3サイズで字も大きく読みやすくしています。

老ク連以外の活動で、今までどのようなものを取り上げてきたのか少し紹介します。地域社会との関わりでは、坂本ふれあい市民運動会や文化祭、心の豊かさを求めているが、日吉山王祭などがあります。独自活動の多さも魅力となっています。

に原発廃炉と再生可能エネルギーの利用促進を要望。また、大津市長にも要望書を提出しながら、二〇一二年五月から十五号(回)にわたり、孫たちの将来に安心安全な環境を残すためのキャンペーンを張りました。

また、活動には会員や理事会からの意見も多く取り入れて、より会員の身近なところ(近くの神社事務所)で健康講座を開催したり、また第二弾の講座には、意見をもとに座ったままできる体操も取り入れる予定です。行事のたびごとに、篠原会長の墨書の横断幕がいつも花を添えていただいています。

お陰をもちまして、会員数は昨年度九名、今年度は十四名の新会員を迎えて総勢八十七名となり、坂本老ク連の中で最大となりました。これからも、会員の健康と地域社会との関わりを大切に歩んでいきたいと思っています。



会員文芸

▽俳句

大津市 木村 五郎
注連飾る船先揃えて舟溜り

大津市 深田弥栄子
秋澄むや遠き声援風と聴く

大津市 山口 常美
さざ波に映る三日月浮御堂

大津市 木村 信子
おだやかに米舂むかえし春立ちぬ

大津市 北村 正幸
荒草の棚田を守る野焼きかな

大津市 谷 栄
目覚むれば静かな空気雪しんしん

大津市 伊達 稔
神楽殿準備整い山笑う

草津市 筒井 滋子
子のつめる秋の七草釜みぢか

草津市 佐藤 正人
一枝の木犀の香と妻見舞う

草津市 中村 昌子
霧也八十路を辿るクラス会

野洲市 西中 文江
旬野菜今日も頂きうれしくて

野洲市 神山 久子
梅咲くやひ孫の言葉はつくくと

湖南市 西澤己代子
一撞の余音にとぶや赤トンボ

高島市 和田阿也子
痛みし身に寒さ身にしむ大寒の入

竜王町 石井 武雄
草紅葉彩なす道に郷愁あり

米原市 磯崎 外二
初場所や邦人力士に手に汗し

大津市 木村 五郎
千支の午造り終えたる陶の里
はや初窯の煙たなびく

大津市 深田弥栄子
豊郷の青田は失せて風もなく
宅地化の波押し寄せにけり

大津市 山口 常美
寒くても玄関で私しを迎えてくれ
る胡蝶蘭

近江八幡市 大川 勇
朝夕に見上げる岩戸十三佛
お迎え待つてと気儘に動く

草津市 久保 光子
凍てる夜のわが腕にて泣きし子が
今ひとり娘の襦袢えいる

野洲市 辻村 静枝
気をつける老いたる足に言い聞かせ
畑掘りながら植付け準備

野洲市 竹村十四枝
この町に嫁ぎて早や五十年
近江富士とは三上山の四季を見て暮す日となり

野洲市 西中 文江
「よかったね」主治医の言葉うれしくて
退院間近気持はれば

野洲市 神山 久子
枝ぶりのよき老木に花匂ふ
盆梅展に夫と佇む

野洲市 加賀爪久恵
何げない一つの言葉話しつつ
良くも悪くも楽しくもなり

湖南市 西澤己代子
亡き母を語り仏を描く人
目に感涙の光りいる見ゆ

高島市 河原田 勝
戦中の修羅場に我を育て来し
今亡き母は写真で笑う

大津市 木村 五郎
裏ばなし脚色一寸盛り上げた

大津市 山口 常美
黄昏に貴女の思い出焼き付ける
白票に言えないことが書いてある

大津市 野口 政子
高二の孫胸のすくよなホームラン
鏡見て亡き母の顔見ゆる齡

大津市 深田弥栄子
お神籤を何度引いても吉となる
近江八幡市 大川 勇
急かしても動けぬ身となりました

草津市 中村 政子
ケイタイに飽きてスマホに悩み居り

草津市 筒井 滋子
野佛に手向ける花やふかしいも

草津市 荒川 和彦
強風でマツタケ好きなN・H・K
野洲市 辻村 静枝
抜けているこのネジかがわからない

野洲市 加賀爪久恵
無理をせず今日一日を有意義に

大津市 山口 常美
手の平返した五本の指を
幸福だけの皺を見て過去の苦勞
忘れたい

文芸作品募集 あなたの作品、応募してみませんか？

- ◆短歌、俳句、川柳、情歌の部門を募集します。(冠句はありません)
◆応募は、「ハガキ」に一人あたり1部門1作品(厳守)とし、どの部門の応募かを明記してください(1枚のハガキに書く部門の作品各1点を記入することはできませんが、同一部門の作品が2点以上ある場合は無効となりますのでご注意ください)
◆読みにくい文字やあて字には、必ずふり仮名をつけてください
◆応募作品には、郵便番号、住所、氏名、電話番号、単位クラブ名、所属する市町老ク連名を明記してください
◆応募作品は、掲載・不掲載に関わらず返却いたしませんのでご了承ください
※締め切り、送付先は9頁の原稿募集要領をご覧ください





山面さわやかパトロール隊

竜王町 山面老人クラブ

平成十六年、わが地域はそこに暮らす住民で守ろうと、防犯パトロール、交通事故防止の啓発、安全なまちづくりの啓発活動を行うために、山面老人クラブの有志が集まり、「山面さわやかパトロール隊」を発足させました。

活動をはじめた当初は、堤防のあちこちに車を止め、車中で飲酒したりする人やパトロール隊を変な集団と思っ、竹の棒を持って待ちふせる若い人たちがいるような状態でした。現在、パトロール隊は平均年齢六十九歳で、中には少し身体の不自由な方もおられますが、九年前に発足以来、自分たちの地域を守るために、毎週水曜日と土曜日に一時間、頑張って堤防の周辺を巡回しています。



ニユースポーツの普及団体です。あなたの街でニユースポーツの講習会をしませんか

たとえば「種目の相談、講師の派遣、用具の貸出」などお気軽にお問合せください。



■お問合わせ先

特定非営利活動法人
フレンドリー情報センター
〒537-0012 大阪市東成区大今里3-12-23・3F
TEL.06-6971-9190 FAX.06-6981-7470
http://www.newsports-21.com
e-mail:friendly@newsports-21.com



平成 25 年度 高齢者相互支援活動研修会 女性委員会主催研修会

12月10日、県立長寿社会福祉センター大教室において、平成25年度高齢者相互支援活動研修会、及び県老ク連女性委員会主催研修会を開催。各市町老ク連から260名が参加されました。

第1部(午前)の高齢者相互支援活動研修会では、「今こそ老人クラブの出番ですよ」と題して、前日本福祉大学教授・中川晴夫先生に講演いただきました。

第2部(午後)の女性委員会主催研修会では、西山委員長の挨拶のあと、「全老連女性リーダーセミナー」への参加および女性委員会の活動について報告され、その後、3地域から、「暮らし支え合い」について活動事例が発表されました。最後に、「花は咲く」を会場全員で合唱し、白井副委員長の閉会の挨拶で研修会を終えました。

掃、花壇の手入れや季節ごとの植栽を行って、PTAの方々にも喜んでもらっています。このような活動により、自治会長さんからも信頼され、年末の餅つき行事も老人クラブ女性部を中心にさせてもらっています。

これからも、地域に役立つ活動を元気に取り組んでいきたいと思えます。(長江とみ江)

編集後記

新年おめでとうございます。今年、消費税の引き上げやTPPの問題など、社会的には何かと大変な年になりそうですが、私たち高齢者にとっては、世界に類を見ない超高齢社会を、健康でいきいき過ごすために、お互いを高め合うクラブづくり、支え合う仲間づくりがますます大切になるものと思います。この「いきいき近江」が、さらに会員の結びつきを深め、連帯の輪を広げる一助となりますよう努力してまいりますので、みんなが元気になるような話題の提供などご協力よろしくお願いたします。(久保田九右衛門)

～近畿のかんぽの宿～

- | | | |
|-----------------|------------------|-------------------|
| 彦根 0749-22-8090 | 富田林 0721-33-0700 | 大和平群 0745-45-0351 |
| 奈良 0742-33-2351 | 白浜 0739-42-2980 | 紀伊田辺 0739-24-2900 |
| 有馬 078-904-0951 | 赤穂 0791-43-7501 | 淡路島 0799-82-1073 |

もうご利用されましたか?

割引価格でご利用できます

平成25年9月1日(日)から、「滋賀県老人クラブ連合会」と全国の「かんぽの宿」が利用提携を開始しました。

全国のかんぽの宿でご利用いただけます。
県老連会員1名様につき、1泊2食以上のプランご利用で

1泊あたり 500円割引!!
同伴者は3名様まで割引!!

かんぽの宿彦根では、さまざまなプランをご用意しております。詳しくは当宿にお問い合わせください。

「おうみの名工」を受賞した当宿料理長自慢の料理をお楽しみいただけます。



- ◆ご宿泊 11,000円～ (お1人様1泊2食・1室2名様以上)
- ◆日帰り 3,150円～ (ご入浴+ご昼食セットプラン)

※写真のお料理は「琵琶」です。

ご利用案内

- 本温泉は、お湯張りの際一時的に源泉に加水していますが、それ以外はすべて源泉だけを加熱使用し、レジオネラ菌の発生を防ぐなど、安心してご利用いただけるよう循環ろ過し、塩素系薬剤を使用して衛生管理に努めています。展望大浴場には、伊吹薬草による薬草湯もございます。なお、薬草湯では薬用成分の効果をもとに真湯を使用しています。
- 飲酒後の運転はご遠慮ください。
- 最力関係者及び入れ墨をした方の利用をお断りします。

～平成25年3月30日(土) リニューアルオープン～
びわ湖一望の展望大浴場 天然温泉 彦根千乃松原温泉

かんぽの宿彦根

〒522-0002 滋賀県彦根市松原町 3759
※掲載の写真・イラストはすべてイメージです。

ご予約お問い合わせ ☎0749-22-8090
かんぽの宿 Web サイト
http://www.kanponoyado.japanpost.jp/



かんぽの宿メンバーズカードは、旅をより楽しく、お得にするお出かけのパートナーです。キャンペーン期間 1/1000～2/280

かんぽの宿メンバーズカード 新規ご入会キャンペーン

期間中、かんぽの宿に1泊2食以上でご宿泊いただき、かんぽの宿メンバーズカードに新規ご入会いただいたお客さまから、抽選で合計410名様にプレゼント!

- 入ってよかった賞 高級カタログギフト 10万円相当 10名様
- もらってうれしい賞 郵便局のふるさと小包 (5千円相当) 100名様
- これはナイス賞 JTBNailsギフト券 (3千円相当) 300名様

キャンペーン期間 平成26年1月1日(水・祝)～2月28日(金)のチェックインまで
対象の宿 全国の「かんぽの宿」「かんぽの郷」
当選発表 当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
入会条件 満12歳以上(小学生を除く)の方はどなたでもご入会いただけます。

かんぽの宿メンバーズカード

ポイントサービス

100円につき1ポイント貯まる!貯まったポイントは宿泊料金にご利用いただけます。(1ポイント=1円換算)

会員限定

プレミアムプラン

かんぽの宿Webサイトで、会員様限定のプレミアムプランを提供しています。公式サイトだからできるおトクなプランです。

12時

チェックアウト

会員様のチェックアウトは一般のお客さまより2時間遅い12時です。※ご予約時にお申し出ください。

お誕生日に

お楽しみ♪

お誕生日にご宿泊いただいた会員様には、お楽しみプレゼントを差し上げます。※ご予約時にお申し出ください。

優待割引

提携の観光施設などで、優待割引をご利用いただけます。宿内の売店での買い物でも割引になります。※対象商品に限ります。

簡単

Web予約

会員番号とパスワードで、ご予約の情報が簡単に伝わり、ご予約が簡単になります。